

心豊かに暮らせるまちづくり



◆子育て環境、質の高い教育の充実

子どもの発育や子育てなど、さまざまな相談や支援を行う「子ども何でも相談窓口」を新設します。
また、「0歳から15歳までの切れ目ない質の高い教育」の充実に向けた取り組みを、保育所・幼稚園・小学校・中学校が連携し、公立・私立・校種の枠を越えた取り組みを進めます。

◆生涯にわたる学びの環境づくり

公民館や図書館を「生涯学習の拠点」と位置付け、誰もが学習できる環境づくりを推進するとともに、市民が気軽にスポーツに触れ合う機会の創出や、さまざまなスポーツイベントなどを誘致し、文化やスポーツを通じた生きがいづくりを支援します。

◆地域コミュニティの強化

市民、自治会、市民活動団体など、多様な地域づくりの主体と協力しながらまちづくりを推し進める「地域づくり支援課」を新設し、自治会・地域への支援・相談窓口を一元化の中で、地域コミュニティの再生・強化を推進します。

事業紹介

乳幼児教育ビジョン推進事業

事業費:451万円

新たに策定した乳幼児教育ビジョンに基づき、質の高い乳幼児教育や保育サービスの充実に向けた講演会の開催、職員研修の実施、保幼小連携カリキュラムの研究など。



保育の質の向上に係る保育士確保支援事業費補助

事業費:1,150万円

保育者の研修時間の確保や、年度途中の入所対応など、職員体制の充実による質の高い保育の提供を支援するため、保育士配置に要する費用を助成。



中心市街地活性化事業

事業費:5,550万円

西地区の城下町としてのまちなみを活かしたまちづくりを進めるため「歴史のみちづくり整備事業」などを実施。



世界記憶遺産国際ブランド推進事業

事業費:1,682万円

世界記憶遺産登録資料と舞鶴引揚記念館の国際的なブランド力向上のため、全国での巡回展や、博物館世界大会の誘致、登録1周年記念シンポジウムの開催など。



▲ユネスコ世界記憶遺産の登録証

安心のまちづくり



◆健康に暮らせるまちづくりの推進

市民が生きがいと活力を持ち、安全で安心して心豊かな生活を営むため、「健康」をまちづくりの中心に位置付け、住民全体が健康で元気になる都市モデル「スマートウェルネスシティ※」の実現に向けて、総合的な視点で健康のまちづくりを推進します。

◆地域福祉の充実

高齢者施策を総合的に推進するための基本指針である「舞鶴市第6期高齢者保健福祉計画」に基づいた、医療・介護・予防・住まい・生活支援のサービスの充実や、障害者が身近な地域において自立できる就労環境の向上、生活困窮者の自立支援などの状況に応じた包括的かつ継続的な支援に取り組みます。

◆防災機能の充実・強化

原子力災害に対する市民の安全・安心を確保するため、モニタリングポストの増設、避難道路の確保など、立地自治体と同等の整備を国に強く要請し、原子力防災対策の充実・強化に取り組みます。

また、災害に強い都市基盤づくりのため、引き続き由良川流域の緊急水防災・治水対策や西市街地の浸水対策のほか、消防小型動力ポンプの機動力化など、地域防災力の充実に取り組みます。

事業紹介

【都市公園整備事業】

事業費:3億3,390万円

気軽にスポーツを楽しんだり憩いの場の創出のため、(仮称)西運動公園の整備や青葉山ろく公園等の長寿命化工事の実施。



【介護人材確保支援事業】

事業費:5,132万円

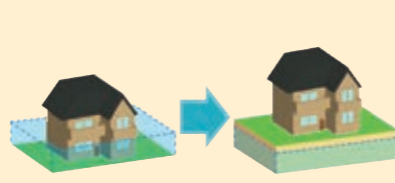
介護人材確保のため、修学資金貸与や資格取得支援講座受講料、介護職員研修受講料の助成などの実施。



【西地区浸水対策事業】

事業費:3,179万円

西市街地の浸水被害対策のため、宅地かさ上げに対する助成や逆流防止弁の設置、雨水排除の事業計画策定を行う。



※スマートウェルネスシティ…身体面の健康だけではなく、人々が生きがいを感じ、安全安心で豊かな生活を送れるまち。

飛躍・行動の元年へ

平成28年度

舞鶴市の予算

～舞鶴市のお金の使い方～

一般会計	350億4,161万円	対前年度比 △2.7%
特別会計	252億5,398万円	対前年度比 +0.4%
	国民健康保険事業会計	104億4,316万円
	簡易水道事業会計	9億8,050万円
	土地建物造成事業会計	358万円
	貯木事業会計	103万円
	下水道事業会計	44億9,878万円
	駐車場事業会計	4,781万円
	介護保険事業会計	81億2,032万円
後期高齢者医療事業会計	11億5,880万円	
公営企業会計	46億5,971万円	対前年度比 +22.2%
	水道事業会計	36億1,752万円
病院事業会計	10億4,219万円	
全会計	649億5,530万円	対前年度比 △0.1%

本市が大きく飛躍するために必要な基盤を築く「ターゲットイヤー」と位置付けた平成27年度。地域医療の充実・強化をはじめ、災害に強いまちづくりの推進、子育て・教育環境の充実、京都舞鶴港の機能強化による人流・物流の拡大、観光ブランド戦略の推進による交流人口の増加など、将来を見据えたまちづくりのための基礎固めをさまざまな取り組みで進めてきました。

平成28年度を、さらなる飛躍のための「飛躍元年」、基礎固めとして整備した環境を活かして具体的に行動する「行動元年」と位置付け、舞鶴市まち・ひと・しごと創生総合戦略で目標として掲げる「交流人口300万人・経済人口10万人都市・舞鶴」の実現を図ります。市では、「心豊かに暮らせるまちづくり」、「安心のまちづくり」、「活力あるまちづくり」を推し進める事業に大きく投資する一方、事務経費の節減や建設地方債の発行を借入金残高が減少する額に抑制するなど、戦略的、かつ持続可能で安定的な財政運営を堅持する予算編成を行いました。

次のページから、施政方針に基づいた主な施策を、事業を交えてご紹介いたします。

《財政課》